



智頭 議会だより

第 175 号 / 令和 8 年 7 月 15 日発行



鳥取県八頭郡智頭町議会



令和 8 年 5 月 31 日、旧山形小学校グラウンドで、台風期に備え河川等の氾濫に対応する水防訓練が行われました。



智頭の思い出シリーズ.64



平成 20 年度水防訓練 (智頭地区)
木流し工法の訓練

今号のラインナップ

- ▲ 令和 8 年 6 月定例会 P 2 ~
- ▲ 7 人の議員が登壇し一般質問 P 5 ~
- ▲ 各常任委員会報告 P 9 ~
- ▲ 町民の声 (那岐地区) P12

スマート捕獲等普及加速化事業

43万5千円

シカ・イノシシ等被害
防止施設とは、従来の
捕獲罠とどのような違
いがあるのか？

ICT 技術を活用した鳥獣農
捕獲システムの導入により、
罠にかかる、猟師のスマート
フォンなどに連絡が届く。



議員



鳥獣農捕獲システム



執行部

第2回6月定例会が6月5日から12日まで8日間の
会期で行われました。
専決4議案の承認を行い、令和8年度補正予算8議案、
条例案など26議案、発議1議案を審議し、原案どおり
可決しました。

補正予算を可決

令和8年度



表紙関連
トピック

水防訓練関係者の声

台風シーズンに備えて、この時期
の訓練は大変有効と考えます。
日ごろから防災意識を高く持ち
有事に備えています。



智頭町消防団山形地区
担当副団長 大榎 純一郎 さん



水防訓練



智頭町消防団那岐女性分団
分団長 安道 和美 さん

日ごろから火災を未然に予防する
広報活動を行うとともに災害時には
炊き出しも行っています。



智頭町赤十字奉仕団
代表 大坪 優美子 さん

炊き出しの訓練を兼ねて
水防訓練に参加しています。
毎年少しずつ上手になっ
ていきます。



炊き出し訓練

行政不服審査負担金

どういった内容に
不服があったのか？

相続における家屋の固定資産税評価額と、固定資産税（家屋）の課税に関する処分についてである。

議員



執行部



行政不服審査の申し立てに係る第三者機関への定額負担金の増。

72万6千円

二地域居住交通費支援事業

どのような
支援が
行なわれる
のか？



事業対象者となる
方が、国内飛行機
を利用した回数分
で、ポイントが還元
される。

議員



執行部



航空会社が提供するポータルサイトを活用した実証事業に要する経費。

25万円

人事案件

●智頭町教育委員会委員の任命
おかつはさ
岡大翼委員の辞職に伴い、後任に小椋進司氏
を任命することに同意した。
おぐらしんじ

●智頭町児童福祉施設の設置及び管理等に関する
条例の一部改正
子育て支援センターをちづ保育園内に移転したことに伴う改正。

条例の一部改正

智頭病院入院等設備整備費

企業会計



具体的な整備内容は？

病室からの院内感染を防ぐ目的。

議員



執行部



新たな感染症の発生に備えるため簡易陰圧装置（汚染された空気が漏れ出すのを防ぐ）2台と空気清浄装置1台を整備。

618万2千円

発議

●議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する
条例の一部改正
・宿泊費基準額の改正。

その他

●智頭町過疎地域持続的発展計画の変更
・防災ハザードマップ更新事業の追加。
・立地適正化計画策定事業の追加。

専決

●智頭町農業委員会委員の任命
現委員の任期満了に伴い、14名の委員の任命に同意した。
●人権擁護委員の推薦
任期満了に伴い、小屋本弥生氏を引き続き推薦することに同意した。

●智頭町税条例の一部改正

・軽自動車税の環境性能割廃止に伴う改正。
・公的年金受給者の扶養親族等申告書の提出義務の範囲の改正。（令和9年1月施行）
・固定資産税の家屋と償却資産の免税点の引き上げ。（令和9年4月施行）

陳情の審査結果

	件 名	提 出 者	審 査 結 果
①	大規模太陽光パネルの適正設置と管理に関する 条例制定についての陳情書	土師駅前部落 世話人 今倉 淳 及び 土師駅前部落一同 及び 山田部落一同	採 択
②	ゆめが丘地区のスクールバスに関する陳情書	ゆめが丘地区区長 小谷 徹	採 択

■ 陳情書は定例会が始まる **10日前** までに提出してください。(土・日・祝日を除く)

TEL : 75-3115 gikai@town.chizu.lg.jp



■ 次回の定例会は9月8日から開催する予定です。

詳しくは、議会事務局にお問い合わせください。

7人の議員が一般質問に臨みました !!

議 員 名 / 質問内容	議 員 名 / 質問内容
田中 賢 1. 智頭町の林業振興について 	大河原 昭洋 1. 中東情勢の悪化に伴う本町への影響 について 
波多 恵理子 1. 障がい者差別解消について 	岡田 光弘 1. 住民アイデンティティを高めること について 2. 関係人口を定住に繋げることに について 
谷口 雅人 1. 鳥取県関西本部への職員の派遣と 民間交流について 	古田 浩 1. 部活動地域展開と子供達のスポーツ 文化芸術活動の指導者育成について 
谷口 翔馬 1. 情報発信について 2. 移住定住促進対策について 	

※一般質問の録画を、スマートフォンや
自宅のパソコン・IP 告知端末で見ることができます！

■ スマートフォン・パソコンを使って
検索

智頭町議会録画放送

検索



■ IP 告知端末で視聴

①ホーム画面 → ②次ページ → ③智頭町議会

上記の順番でタッチしてください。

「智頭町議会録画放送」の画面が表示されます。

②次ページをタッチする



IP 告知端末



田中 賢

地域産業

木材チップ新たな取り組みは

町長／地域振興と連携し進める

問 町内木材市場から杉・ヒノキが令和7年度は50,709m³が建築用材、うちチップ材として11,766m³〔約1億円〕が町外に出ている。木材チップを利用した地域振興対策の可能性は。

答 町長 新たな地域産業の創出が見込まれ、さらに木材チップを地域内で生産・利用する仕組みを構築することで、地域経済の循環や脱炭素社会の実現にもつながる。今後、木材チップの利用による地域活性化の可能性に林業分野のみならず、農業や環境分野、地域振興との連携も視野に入れた検討を進めたいと思う。



真庭市の木材チップ工場

問 第8次総合計画策定における、森林・林業施策に向けた町長の基本的考えは。

答 町長 今後は行政、林業事業体、関係団体、企業や都市部自治体など多様な主体が連携して、第8次総合計画の策定に、森林・林業を生かしながら、守る森林から生かす森林への視点に立ち、検討を進めていきたいと思う。



大河原 昭洋

中東混乱

緊急経営支援策の考えは

町長／情報収集に努め対応する

問 中東情勢の影響による経済の悪化は、大都市圏だけではなく、智頭町のような小さな自治体の地方財政、経営体力の脆弱な中小企業や個人事業主の経営を直撃している。即効性のある緊急経営支援策を講じる考えは。

答 町長 地域経済への影響を注視しているところであり、現時点では、影響の程度や範囲が不透明である。町独自の緊急経営支援策は、引き続き情報収集に努め、必要に応じ対応する。

問 ナフサショックによる医療用プラスチック資材の価格高騰及び調達遅延について、智頭病院における現状と影響、今後の見通しは。

答 病院事業管理者 価格高騰の影響額は、使用量の多い医療用手袋を中心に、4月分だけで約50万円の増額となっている。医療消耗品などの物品の在庫は、一元的に管理する仕組みを専門業者へ委託しており、遅れは生じてない。今後も他の医療機関と情報共有をしながら、診療材料の安定確保に努める。



供給不足が懸念される医療資材



波多 恵理子

改正障害者
差別解消法

災害時の合理的配慮は

町長／障害特性の理解を深める

問 2024年4月に障害者差別解消法の改正が行われ、民間事業者による合理的配慮の提供が義務化されたが解消法を知らない事業者も多く更なる周知が必要では。

答 町長 障がいのある方への日常・社会生活で、制限が少しでもなくなるように、引き続き、チラシ、リーフレットの配布、補助金の周知など県と連携して行っていきたい。

問 災害時、生命の危機に直面するため、行政や避難所の運営者は合理的配慮の調整を行う法的責任が求められているが、本町の取り組み体制は。



ヘルプマーク

要配慮を
周囲に知らせる



あいサポートバッチ

障がいのある方
を手助けする証

答 町長

各避難所に役場職員を配置し、責任者は運営時の連携やマニュアルの確認を班ごとに行っている。今後はさらに、個別の配慮ができるように、職員対応要領を避難所運営の打ち合わせにとり入れ、指定避難所の運営に当たる職員の障害特性への理解を深め、筆談による対応や声掛けなど、配慮に努めていく。



岡田 光弘

誇れる智頭

智頭らしい人口減少対策は

町長／関係人口の定住化を図る

問 住民アイデンティティの現状をどう認識し、人口減少で明らかになった情報発信不足や地域コミュニティの固定化などの課題を、今後どのように克服していくのか。

答 町長 アンケートやワークショップ、ゼロイチ、百人委員会の活動から、本町は住民自治力の高い町と認識している。今後も住民主体の取り組みや小学校での「ちづNEXT」などを通じて郷土愛を育み、積極的な情報発信と住民参加を促進して課題解決につなげる。

問 関係人口を定住人口へ結び付けるため、今後どのような取組を強化していくのか。

答 町長

「遊ぶ広報」やCHIPs事業により関係人口は拡大しているが、定住には住まいの確保が大きな課題である。今後は観光・移住定住ビジョンに基づき、起業支援や雇用創出、住宅整備、ターゲットを明確にした情報発信を進め、関係人口の定住化を図る。



CHIPs事業の拠点 クレージュOPEN



谷口 雅人

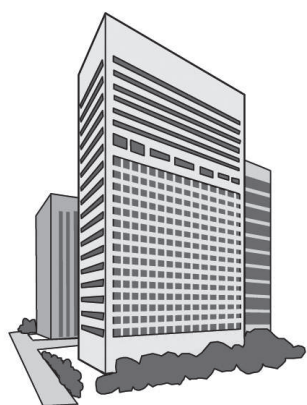
鳥取県関西本部

職員派遣再開の考えは

町長／関西との連携は必要不可欠

問 鳥取県関西本部に職員派遣を行い、他町に先んじて様々な事業展開を行い、その成果を上げてきたが、20年以上経過した今日、その機能が低下したと言わざるを得ない。この質問は関西・大阪万博開幕を控えた令和元年12月にも行っているが、当時は主にインバウンドを意識した質問であった。今回は切り口を変えた質問であるが、町長の見解は。

答 町長 本町にとっても、あらゆる面で重要なエリアであることは承知している。関西本部との連携については、今後とも必要不可欠だという認識はしているが、職員派遣という形での人事交流は今のところは考えていない。



問 目的はそう多くはない、やっぱり人的交流による人、物、金、この動きをしつかりと構築することが、私は一番の目的であると思っているが、その認識は。

答 町長 関西本部への派遣という形で足掛かりをつくらうとした場合には、やはり職員への負担がものすごくかかるだろうと思う。



古田 浩

部活動改革

小学生も含めた改革を

教育長／機会を通じ要望する

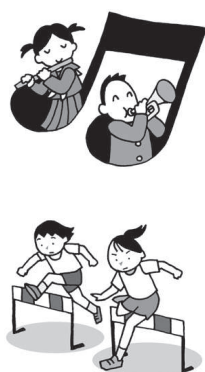
問 今年度から部活動改革及び地域クラブ活動改革の実行期間となったが町の状況と課題は。

答 教育長 部活動改革推進協議会では、今後「スポねつとちづ」のなかで中学生も一緒に活動できる環境を整えていく必要がある。今年も中学校に7名の部活動外部指導者を配置しているが地域展開に至ってなく指導者確保が課題である。

問 中学校部活動指導者には報酬があるが小学生のスポーツ文化活動を支える指導者のボランティアには限界があると考えるが。

答 教育長 中学校の部活動指導

者には、国費・県費を活用して払っている。小学生指導者のボランティアに報酬を払う考えはない。



問 中学校指導者には1時間1,500円で小学生指導者には、「スポねつとちづ」から昨年度年間1,500円。格差解消は指導者確保やクラブ改革を進めるのに一番重要と考える。県・国にも働きかけを求む。

答 教育長 部活動地域展開は県教育長会でも伝えている。機会をみて要望する。



谷口 翔馬

情報発信

補助金一覧を作成しては

町長／ホームページに掲載する

問 近年、自治体ホームページは住民が必要な情報を得るための重要な行政サービスの窓口となっている。しかし、住民から「必要な情報にたどり着けない」といった声がある中で、ホームページのアクセス状況などの分析は行っているのか。

答 町長 ホームページの管理者権限を通じて、アクセス数の多いページなどを確認している。また、近年はホームページのアクセス数が減少傾向にあり、その要因として、SNSの多様化、AIの普及により、ホームページを経由しなくても容易に情報を取得できるようになっている。

問 SNSの普及でアクセス数が減少しているが、ホームページは本町の「顔」であり、住民や町外の人が行政情報を得る重要な入口である。住民が利用できる制度を分かりやすく知るため、ホームページに補助金一覧表を掲載すべきではないか。

答 補助金一覧表の作成について担当課に作成を依頼している。誰もが見やすく利用しやすい形でホームページに掲載したい。



TOWN NEWS

まちの話題

令和8年5月28日（木曜日）

シェアオフィス「フレイジユ」オープン

SHINRA COMPANY（シンラカンパニー）株式会社
代表取締役 星野大輔氏／智頭町指定特定居住支援法人

智頭町や商工会、地元金融機関等と推進する官民連携プロジェクト「CHIPS（チップス）」の活動拠点であり、宿泊・滞在設備を備えています。



シンラカンパニー（株）

代表取締役 星野大輔さん

私の想い

この町で「働き、暮らしていく場所」として担い手から選ばれ、事業者も集まってくる地域をつくることを目指します。



シンラカンパニー（株）

マネージャー 綿引彩香さん

私の想い

「シンラカンパニー」、「二地域居住」、「チップス」等の拠点としながら地域がより豊かになるようがんばります。



議会だより174号に関する 議会広報モニターからのご意見を紹介

【議会だよりの編集に関するいふ】

全体の構成（見やすさ・記事量など）に関する意見

『よい』が9名

- ・マンガみたいに人にふき出しを付けて説明しているのが、とても見やすい。
- ・全体的にデザインやイメージが変わり、とても見やすくなりました。

わかりにくい言葉、説明が必要な内容に関する意見

●3・4ページ

Q 日本型直接支払交付金制度とは？

A 農業、農村の「多面的機能」を維持するために、地域の共同活動や環境にやさしい営農活動を支援する制度です。智頭町が、煩雑な事務を応分な負担のもと、集落の壁を越えて、広域的な制度の導入に向けて活動中です。

Q (CHIPS事業) CHIZU Inc

ubation platformのこととは、まだまだ町民には知られていないのと、横文字なので簡単な補足を入れたほうがよかったかと思います。

A

CHIPS事業は、智頭町における起業、創業、新分野開拓などに挑戦する個人や団体、企業を伴走支援する「中間組織II CHIPS」を立ち上げ、智頭町に根差し、持続可能な産業を育てる事業で、オーディション形式でビジネスコンテストを行っています。

Q 一般質問の町長の答弁がもう少し詳しく読みたいと思います。見出しのように書いてあるので、どんな中身なのだろう？もう少し詳しく回答してほしいと思うので、

文字数を増やしてほしいと思います。答の紙面に限りがあるため、答弁を詳しくみるためには、スマートフォンやパソコン、IP告知端末で、町のホームページから智頭町議会をタップして「智頭町議会録画放送」へ進んでいただくと見ることが出来ます。

A

紙面に限りがあるため、答弁を詳しくみるためには、スマートフォンやパソコン、IP告知端末で、町のホームページから智頭町議会をタップして「智頭町議会録画放送」へ進んでいただくと見ることが出来ます。

●5ページ

Q 病院施設費の金額の多さに（施設の老朽化）？

A

施設の老朽化（築22年）によるものではない設備の更新など施設管理上、経常的な費用もありますが、基本的には町民の健康、保健、衛生に必要な不可欠な施設に必要な総経費です。

【町政全般・議会活動に関するいふ】

- ・農業の担い手不足、耕作放棄地の拡大への対策として、町内在住者だけではなく、町外の方も携わることが出来る仕組みづくりが今後必要になってくるように感じます。

【その他に関する意見】

- ・これまで、モニターとして参加させていただき、議会だよりの読み方が以前より変わったように感じています。良い経験を作せていただきました。
- 今後、議会の状況、智頭の現状・課題・対応策等、わかりやすくお伝えいただきたいです。

※モニターさんの意見は原文のまま掲載しています。

今回をもって、モニター制度は一旦休止させていただきます。今まで貴重なご意見をいただきありがとうございます。



総務常任委員会の報告

報告者：谷口翔馬委員長

副委員長：波多 委員：古田、田中、大河原、安道



「平成30年7月豪雨」の影響を受け、斜面に地すべりの兆候が再発した大呂山

4/21

月例委員会

所管各課の事業進捗状況などについて、質疑を行いました。

主な質疑

Q 大呂山について、3か月間で1センチ未満の変動とのことだが、大呂山全体で地すべりが進んでいる状況であるのか。

A 地滑りとして斜面全体が動いている状況ではなく、地盤や表面部分で生じる程度のわずかな変動と考えられるので、大呂山全体で地滑りが進行しているとは判断していない。

5/19

月例委員会

主な質疑

Q 定住促進住宅について、次期整備に向けた調査研究を開始予定とのことだが、どのような構想や方向性を持って調査研究を進めていく考えか。

A 若手職員で結成したタスクフォースの活動の中で、整備内容や候補地を今後1～2年かけて検討していく。また、ゆめが丘の空き地や旧マルテの跡地などの活用も視野に入れて検討を進める。



Q ふるさと納税について、昨年度は寄附額が過去最高額となり、本年度はそれ以上を目指すとのことだが、どのような取り組みを強化して、さらなる寄附額の増加を目指すのか。

A 昨年度は、ふるさと納税サイトごとに掲載商品が異なり、事業者の都合などから返礼品情報が統一されていないかった。今年度は掲載内容の統一を進め、すべてのサイトで全返礼品を掲載できるよう取り組んでおり、寄附機会の拡大につなげたいと考えている。

6/9

月例委員会

主な質疑

Q 中小企業等事業継続支援交付金は、物価高騰対策として町独自に実施した事業者支援制度であるにもかかわらず、交付実績が対象の5割にも満たない要因は。

A 法人は5万円であるが、個人事業者向けの交付額が1万円と少額であり、申請する動機につなぐににくかった可能性がある。

Q 新聞報道で、他自治体では中東情勢の影響により指定ごみ袋が不足する可能性がある」と報じられていたが、本町の状況はどうか。

A 本町では今年度当初に業者選定と発注を行っており、現在のところ指定ごみ袋は十分に確保できている。今後、情勢の長期化によって原材料の供給に影響が出る可能性もあるため、引き続き状況を注視していく。



民生常任委員会の報告

報告者：田中賢委員長

副委員長：仲井 委員：西尾、谷口翔、谷口雅、岡田

4/14

月例委員会

所管各課の事業進捗状況などについて、質疑を行いました。

Q 今年には雪が多く、様々な所で倒木があったが、森林セラピーロードでの被害の状況はどうか。

A 雪被害はあったが、オープンまでに処置している。例年どおりしっかりとやっていく。

Q 今回配布の杉小判は15,000円になり効果も期待できるが、使える店も減ってきている。6月まであと1ヶ月となった時に何らかのアナウンスを行い、使い切っていただくことが特に必要かと思うが。

A スタートから1ヶ月経った段階では3割を超えており、前回までの発行より利用率は高い。6月末ということなので、どのようなアナウンスをするかは考えて、皆さんに周知していきたい。



5/12

月例委員会

Q 智頭町ふるさと整備土木事業で不採択になったものが、みんなで守るむらづくり基盤整備事業に回ることはあるのか。

A 不採択通知の時に、みんなで守るむらづくり基盤整備事業等を活用することの案内も考えている。

Q 病院経営強化プランに対して令和7年度の実績をどうとらえているのか。

A 入院患者数は少なくなっている。連携室を中心に市内の急性期病院からの受け入れ増を目ざして取り組んでいきたい。

6/10

月例委員会

Q 他県では、まちなかにクマが出没する報道があるが、本町ではあまり聞かなくなつたように思う。本町のクマの現状は。

A 昨年同様、テイクアウトが多いと聞いている。ニーズも多く、たくさんさんの家庭に利用していただきたいので、毎週利用される方には月4回の内1回はお休みしていただき、なかなか来られない家庭に提供できるように行っているという報告を受けている。

Q こども食堂については、テイクアウトが多い状況か。



A 智頭町にクマがいるのは間違いないので、昨年できた緊急銃猟、まちに出たときは補獲できる仕組みを作ってきたい。県にもクマのセクションができているので、そこも情報共有をして対策を進めていきたい。





町民の声

智頭町の小さなぜいたく



古田 由美子 さん（那岐地区）

先日、3歳の孫と散歩をしていた時のことです。道端で「車が来たら危ないから気を付けようね」と言ったところ、孫が辺りを見回して一言。

「車、こんよ。」

確かに来ません。

昔なら「危ないから端によつて」と言っていた道も、今は鳥のさえずりのほづがよく聞こえます。

智頭町の宝物

自営業をしている私も、年々交通量が減り、お客様も少しずつ高齢化しているのを肌で感じています。

人口減少や少子化は、今や智頭町だけの問題ではありません。日本中が同じ課題に向き合っています。

しかし、だからといって「仕方がない」で終わらせたくありません。

智頭町には、都会にはない宝物があります。春の新緑、夏の川のせせらぎ、秋の紅

葉、冬の静かな雪景色、そして何より、人と人の距離の近さです。

都会では隣の人の名前を知らない事も珍しくありませんが、智頭町ではスーパで会えば立ち話が始まり、病院で会えば近況報告会になります。時には予定より30分帰れないこともあります、それもこの町らしさです。

小さな行動の積み重ね

今は子供の数が少なくて、この子達が大人になった時、「智頭で育つてよかった」と思える町であってほしい。そして町外から来た若者にも、「ここに住んでみたい」「来てよかった」と感じてもらえる町であってほしい。

人口は急には増えないかもしれませんが、魔法のような特効薬はありません。それでも、一人ひとりがこの町を大切に思い、小さな行動を積み重ねることで未来は変わる

のではないでしょう。

美しい緑に囲まれたこの町を、次の世代へ引き継いでいく、それが今を生きる私たちの役目だと思います。

そして願わくば、20年後に孫が同じ道を歩きながら、「私の小さい時より車が増えたなあ」と言ってくれたらうれしいですね。その時はきっと、「そうだろう」と得意げに答えながら、免許返納後の自転車でゆくり走っていると思います。



編集後記

議会だより175号が皆様のお手元に届くときには梅雨も明け、蝉の声が夏の訪れを告げていることと思います。

今号では、6月定例会での議論や決定事項、4月から6月までの議会活動の一部をお伝えしました。

さて、今起きている中東の紛争は、中山間地域に位置する智頭町の地域経済、そして町民の命の砦である医療機関の経営を容赦なく直撃しています。一日でも早く中東の混乱が治まり、平穏な生活が戻ることを心から願っています。

暑さ厳しい折ですが、どうぞ体調に気をつけて、健やかな夏をお過ごしください。（大河原）

編集 集 広報広聴常任委員会

委員長 仲井 荃

以下議員全員

発行責任者 議長 安道 泰治